

令和8年3月27日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第449号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. <繁忙期に向けて>アプリで人材確保に取り組んでみませんか？
2. 「令和7年度 病害虫発生予報第10号」（令和8年3月11日（水）付け）を発表しました
3. 畜産物（生乳・牛肉）の環境負荷低減の「見える化」販売実証を開始！
4. 農地を所有・貸借する法人としての義務をお忘れなく！
5. （みどり戦略技術紹介）カンキツ園での省力的防除に有効な軽トラック用のアタッチメント式防除機
6. 第37回全国そば優良生産表彰の受賞者が決定しました！
7. 「アグリノート」農機連携機能を新たに公開 ～農機 OpenAPI を活用し、各種データの連携・利活用による経営改善を支援～
8. 高水分の水稻収穫に適応可能なコンバインの車速制御技術を開発
9. 「子実トウモロコシの生産・簡易なサイレージ調製貯蔵技術標準作業手順書（関東地方版）」を公開
10. 特集「ユーザーに選ばれるスマート農業技術」 - 農研機構技報 -
11. 長期貯蔵が可能なポテトチップ用バレイショ新品種「しんせい」を開発
12. ダリア・エターニティシリーズに新品種登場 良日持ち性ボール咲き品種「エターニティファイヤー」を追加
13. 従業員を含めみんなで気をつけましょう～海外から肉製品などを持ち込まないで！～

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. <繁忙期に向けて>アプリで人材確保に取り組んでみませんか？】

本格的な農繁期に向けて、アプリを活用した人材確保に取り組んでみませんか。農林水産省では「労働力募集アプリ」導入ハンドブックを作成し、農家の方と働きに来る方の双方が安心できる環境づくりを推進しています。

◆ 農家の皆様にとって農繁期の人手不足は毎年の悩みではないでしょうか。「少しだけ人手が足りない」、「家族に無理をさせたくない」。そんな声にこたえる選択肢として近年注目されているのがアプリを活用した人材確保です。

◆ アプリを使えば、必要な時期に合わせて募集ができ、スポット的な雇用が可能です。今まで雇用に取り組んだことのない方にとっても比較的スムーズに始められます。このハンドブックでは、農作業をしたことのない人に働いてもらう時の注意点などを解説していますので、ぜひご一読いただき、人材確保にお役立てください。

◇ 「労働力募集アプリ」導入ハンドブック（PDF：4,842KB）はこちら（農林水産省 Web）
→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyou_jinzaiikusei_kakuho/attach/pdf/index-38.pdf

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局就農・女性課（担当：雇用グループ）

TEL：03-6744-2160（直通）

【2.「令和7年度 病虫害発生予報第10号」（令和8年3月11日（水）付け）を発表しました】

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「令和7年度病虫害発生予報第10号」を発表しました。

気象庁の向こう1か月の予報（3月5日付け）では、気温は、全国的に平年並か高いと予想されています。降水量は、北日本ではほぼ平年並、東日本日本海側で平年並みか少ない、東日本太平洋側、西日本及び沖縄・奄美で少ないと予想されています。

野菜・花きでは、いちごのハダニ類の発生が、東海及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。

果樹カメムシ類の発生が、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、トマトのコナジラミ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

◇ 「令和7年度 病虫害発生予報第10号」の発表について（令和8年3月11日（水）付け農林水産省プレスリリース）はこちらから（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/260311.html>

※ 都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

◇ 都道府県の病虫害発生予察情報などはこちらから（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局植物防疫課（担当：国内防除第2班）

TEL：03-3502-3382（直通）

【3. 畜産物（生乳・牛肉）の環境負荷低減の「見える化」販売実証を開始！】

農林水産省では、米、野菜、果樹、茶など（※）を対象として、生産者の皆様の環境負荷低減の取組が消費者の方々に分かりやすく伝わるよう、星の数で温室効果ガスの低減度合いを農産物にラベル表示する「見える化」の取組を推進しています！（ラベル愛称：みえるらべる）

事業者の皆様からは、売上が上がった、商品の差別化につながったなど、付加価値が向上する効果を実感する声も聞こえてくるようになりました。

このたび、対象品目に新たに畜産物を加えるため、牛乳乳製品及び牛肉に「実証用みえるらべる」を表示し販売実証（第1弾）を開始することとなりました。新たなご協力先や商品については、随時、公表していく予定です。

◇ 販売実証（第1弾）の商品および店舗（PDF：1927KB）はこちら（農林水産省 Web）

→

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/mieruka_chikusan_pilot_dairy_beef.pdf

◇ 畜産物の「見える化」販売実証開始の詳細（農林水産省プレスリリース）はこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260310.html

生産者・事業者の皆様で、畜産物（生乳・牛肉）の環境負荷低減の「見える化」にご関心がある方はお問合せ先までお気軽にご連絡ください。

※ご参考

「見える化」の対象品目は、令和8（2026）年3月時点で米や野菜、茶などの耕種作物24品目です。

◇ 環境負荷低減の「見える化」についてはこちら（農林水産省 Web）

→

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/mieruka/mieruka

[.html](#)

◇ お問い合わせ先

農林水産省みどりの食料システム戦略グループ（担当：地球温暖化対策調整・推進班）

MAIL：mieruka-chikusan@maff.go.jp

TEL：03-6744-2473（直通）

農林水産省畜産局総務課畜産総合推進室（担当：調整班）

TEL：03-6744-0568（直通）

【4. 農地を所有・貸借する法人としての義務をお忘れなく！】

農地所有適格法人をはじめ、農地を所有・貸借する法人は、農地法の規定により、毎事業年度の終了後から3ヶ月以内に、農業委員会へ事業状況等の報告をすることが義務づけられています。

特に、農地所有適格法人が当該報告を怠った場合、30万円以下の過料に処される可能性があります。

事業年度終了後は、農業委員会への当該報告を毎年必ず行うよう御注意を！

◇ 農地の権利を持つ法人の報告義務についてはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hozin_nouchi.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局農地政策課（担当：農地調整グループ）

MAIL：hattenkeikaku@maff.go.jp

TEL：03-6744-2153（直通）

【5. (みどり戦略技術紹介) カンキツ園での省力的防除に有効な軽トラック用のアタッチメント式防除機

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に役立つ技術をご紹介します。

今回は、カンキツ園での省力的防除に有効な軽トラック用のアタッチメント式防除機についてです。

カンキツ産地では、高齢化による担い手不足や荒廃園の増加が課題となっていますが、運転席から安全かつ効率的に農薬散布ができる技術が開発されました。本技術の開発により、

散布量が削減され、手散布と同等の防除効果が期待できます。なお軽トラック作業に合わせた園地整備と樹体管理が必要です。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：果樹) (PDF：7,983KB) p.5 カンキツ園での省力的防除に有効な軽トラック用のアタッチメント式防除機 (農林水産省 Web)

→

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/04_midori_catalog5_fruit.pdf#page=5

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ (農林水産省 Web)

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課技術政策室 (担当：推進班)

TEL：03-3502-3162 (直通)

【6. 第37回全国そば優良生産表彰の受賞者が決定しました！】

このたび、一般社団法人日本蕎麦協会主催の「令和7年度第37回全国そば優良生産表彰」の受賞者が決定しました。

農林水産大臣賞は、農事組合法人東大社 (秋田県由利本荘市) が受賞、農林水産省農産局長賞は、ライジングファーム株式会社 (茨城県小美玉市) が受賞し、この他の賞と合わせて計8件のそば生産農家・集団の各賞受賞が決定しました。

令和8年度の表彰に係る募集は、4月頃に案内される予定です。募集が開始されましたら、本メルマガで配信予定です。

◇ 全国そば優良生産表彰事業の概要についてはこちら ((一社) 日本蕎麦協会 Web)

→

<http://nihon-soba-kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html>

◇ 第37回全国そば優良生産表彰の受賞者の決定についてはこちら ((一社) 日本蕎麦協会 Web)

→ <http://nihon-soba-kyokai.or.jp/uploads/1/2/3/9/123974412/2026prize.pdf>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局地域作物課（担当：五十嵐、石川、永井）

TEL：03-6744-2115（直通）

【7. 「アグリノート」農機連携機能を新たに公開 ～農機 OpenAPI を活用し、各種データの連携・利活用による経営改善を支援～】

ウォーターセル株式会社、井関農機株式会社、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」）は、農林水産省「令和7年度農林水産データ管理・活用基盤強化事業」の成果として、営農支援アプリ「アグリノート」に農機 OpenAPI を活用した「記録作成の自動化機能」および「マップ表示機能」、「一覧表示機能」を新たに公開しました。

本機能により、農機から得られる稼働データや収穫量データをアグリノート上で視覚的かつ定量的に分析することが可能となり、特に管理圃場数の多い大規模生産者の経営改善・次期作付計画の立案を強力に支援します。

◇ プレスリリースはこちら（ウォーターセル株式会社 Web）

→ <https://www.agri-note.jp/2026/03/pressrelease20260302/>

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【8. 高水分の水稲収穫に適応可能なコンバインの車速制御技術を開発】

農研機構と井関農機株式会社は、コンバインによる収穫作業中に穀粒水分に応じて作業速度を自動制御する車速制御技術を共同開発しました。本技術により、降雨後や朝露が付着した高水分の水稲を収穫する際でも、従来と比べて穀粒損失を約1/3まで低減できます。これにより、作業可能な時間帯が増え、コンバインの1日当たりの作業面積を約3割拡大することが可能となり、担い手にとっての水稲生産性向上に大きく貢献します。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/iam/174344.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【9. 「子実トウモロコシの生産・簡易なサイレージ調製貯蔵技術標準作業手順書（関東地方版）」を公開】

農研機構は「子実トウモロコシの生産・簡易なサイレージ調製貯蔵技術標準作業手順書（関東地方版）」を2月16日にウェブサイトで公開しました。

本手順書では、関東地方における生産者や技術指導・普及に携わる方々を対象に、子実トウモロコシの有望品種や簡易な調製貯蔵方法など、生産技術の概要を導入手順や事例とともに分かりやすく解説しています。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nilgs/174448.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【10. 特集「ユーザーに選ばれるスマート農業技術」 - 農研機構技報 -】

「ユーザーに選ばれるスマート農業技術」を特集した農研機構技報 第19号を刊行しました。

農研機構では、農業・食品分野での Society 5.0（サイバー空間とフィジカル空間の融合により経済的発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会）の実現を目指しています。

開発したスマート農業技術による「生産者の省力化や収益力向上」、「消費者への低価格・

高品質な農産物の提供」、「企業や都道府県における販路・普及地域の拡大などへの貢献」について紹介します。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/naro/174277.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【11. 長期貯蔵が可能なポテトチップ用バレイショ新品種「しんせい」を開発】

農研機構は、ポテトチップ用のバレイショ新品種「しんせい」を開発しました。「しんせい」はバレイショの重要害虫であるジャガイモシストセンチュウに対する抵抗性を持ち、ポテトチップ加工適性が優れるとともに、収穫から翌年6月まで9ヶ月間貯蔵してもでん粉の糖化がゆるやかなためポテトチップの焦げにつながる糖が増えにくく、焦げの少ないポテトチップの製造が可能です。この特性により、国産原料が不足する2月から6月の期間におけるポテトチップ原料の安定供給への貢献が期待されます。2026年春から本格的な一般栽培が開始される予定です。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/harc/172383.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【12. ダリア・エターニティシリーズに新品種登場 良日持ち性ボール咲き品種「エターニティファイヤー」を追加】

農研機構は、優れた日持ち性と美しさで全国に普及が進む「良日持ち性ダリア・エターニ

ティシリーズ」に、鮮やかな濃赤色でシリーズ初となるボール咲き品種「エターニティファイヤー」を追加し、バリエーションを拡大しました。

種苗生産のための原種苗提供予約を開始し、新品種の全国的な普及を目指します。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/174254.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【13. 従業員を含めみんなで気をつけましょう～海外から肉製品などを持ち込まないで！～】

海外から働きに来る方が来日時に肉製品（特に自国では調味料やお菓子と認識されている肉を含む加工品等）を持ち込もうとする事例が多くみられます。海外からの肉、肉を少しでも含む加工品の持込みは、量・用途・加熱の有無・輸送方法に関わらず法律で禁止されています。

（禁止品の例：ソーセージ、餃子、肉まん、干肉、肉でんぶ（肉松）入りのふりかけ・お菓子、真空パックされた鶏爪・鶏頸・鶏脚）

「お土産だから・・・」→用途に関わらず禁止です

「ちょっとくらい・・・」→量の多少に関わらず禁止です

「日本人（外国人）だから・・・」→国籍は関係ありません

違反した場合、300万円以下（法人の場合5,000万円以下）の罰金又は3年以下の懲役の対象となります。実際に逮捕された人もいます。

家畜の伝染病の病原体は、肉製品や衣服などに付着して生存します。我が国への家畜伝染病の侵入を防止するため、「来日時の肉製品の持込禁止」、「肉製品の外国からの取寄せ禁止」、「自国からの汚れた衣服・靴の持込禁止」について、今一度、ご確認のほどよろしくお願ひします。

◇ 詳細はこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/pgaqinfo/index.html>

◇ 最寄りの動物検疫所はこちら（農林水産省 Web）
→ <https://www.maff.go.jp/aqs/sosiki/address.html>

◇ お問い合わせ先
農林水産省消費・安全局動物衛生課（担当：総務班）
TEL：03-3502-5994（直通）

◆◆◆編集後記◆◆◆

春分を過ぎてから次第に暖かさが増していますが、関東より西側の地域では既に桜が開花し始めているところです。この時期、一気に春の陽気とはいかず、一時的に寒さが戻る花冷えの日であったり、雨や曇り空のぐずついた天気が続くこともあります。日々の服装に迷うところでもありますが、農作業におかれても寒暖差対策万全で臨んでいただければと思います。

■ 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります

メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



- 電子出版：農業担い手メールマガジン
- 発行日：毎月1回発行
- 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：大庭

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

